

地域活性化イベント

JR中央線コミュニティデザインでは、マーケットやイベントの開催を通じて地域のクリエイターやショップの皆さまのコミュニティをつなぎ、この場所ならではのビジネスが生まれるきっかけづくりを推進中。その一例となる2つのイベントをご紹介します。

【中央線パンまつり】

2020年2月に始まった「中央線パンまつり」は、個性豊かなパン屋から行って見たかった名店まで、中央線沿線のベーカリーが集結するイベントです。これまでnonowaなどショッピングセンターで開催していた催事イベントでもパンのテーマが好評だったことから、「パンを中心にした沿線コミュニティを盛り上げたい」という思いで始まりました。イベントの企画運営には、「中央線ビールフェスティバル」も携わる株式会社スイベルアンドノットが参加し、出店者とのつながりを広げながら年々規模を拡大させています。2023年と2025年の第5回・第6回の開催では、「中央線パンまつりならではの商品もあると面白そう」というアイデアをもとに、駅社員が考案したパンを地元のベーカリーが商品化し、イベント限定のオリジナルパンを販売しました。地域の個人店と沿線住民をつなぎ、お店のファンを増やし、ショッピングセンターにも出店いただく、そんなサイクルを目指す「中央線パンまつり」。JR中央線コミュニティデザインならではの特徴と管理するアセットを活かし、中央線沿線の地域交流と文化創出に貢献しています。

【中央線からはじまるしえ】

「中央線からはじまるしえ」は、2023年4月に始まった、中央線沿線で活動する事業者や、これから活躍したいプレイヤーと沿線で暮らす人々が出会い、つながるマルシェ（“中央線からはじまる”“まるしえ”）イベントです。地域の事業者と幅広くつながり、当社目線で沿線のお店やストーリーある商品のリアルな魅力を発信できないか、という思いから始まりました。これまで当社が開催してきた大規模イベントとは異なり、社員が街のお店や出店者と直接つながり、駅前や高架下だけでなく街なかでも展開。2024年には自治体や近隣企業の声を受け、当社施設外での開催も実現しました。出店をきっかけに当社直営店での商品取り扱いにつながった事業者や、店舗のファンを生む動きも生まれています。JR中央線コミュニティデザインは、地域と人をつなぎ、挑戦の芽が育ち、街の価値が更新されていく“これから”をつくるプラットフォームとして、今後も沿線の地域交流と新規事業・起業支援に貢献していきます。



駅社員が考案し、地元ベーカリーが焼き上げたオリジナルパン。



地元ベーカリーと地域の方々とのたくさんの交流が生まれています。



訪れたお客さまとの交流の様子。交流を通じて、街やお店の魅力を発信しています。